

報道関係各位

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

BD、エドワーズライフサイエンス社からクリティカルケア事業の買収を完了

※プレスリリースは発表時のものを掲示しております。発表後、内容に変更がある場合がありますのでご注意ください。

(注：本リリースは、米 Becton, Dickinson and Company が 2024 年 9 月 3 日（米国現地時間）に発表したプレスリリース “BD Completes Acquisition of Critical Care from Edwards Lifesciences” を日本語に翻訳再編集したものです。本リリースの内容については英文資料を基本とし、翻訳文と解釈が一致しない場合は英文を優先とします。また、文中には日本では未承認、または適応外使用となる製品についての記述が含まれることがあります。

詳細は <https://investors.bd.com/news-events/press-releases/detail/849/bd-completes-acquisition-of-critical-care-from-edwards-lifesciences> をご参照ください。

- **BD のスマートコネクタケア ソリューションのポートフォリオを、先進的な AI 対応の臨床意思決定ツールを含む、先進的なモニタリング技術で拡充します。**
- **先進的なモニタリングと輸液プラットフォームの組み合わせにより、統合された企業データセットと相互運用性機能を活用した、クローズド ループ血行動態モニタリングおよび治療に対する将来のイノベーションの機会が生まれます。**
- **本事業は BD アドバンスド ペイシエント モニタリングに改名され、カリフォルニア州アーバインに拠点を置き、BD メディカルセグメント内の事業部門となります。**
- **ケイティ・ザイマンが、引き続き BD アドバンスド ペイシエント モニタリングのワールドワイド プレジデントとして指揮を執ります。**

米国ニュージャージー州、フランクリンレイクス（2024 年 9 月 3 日） - 世界的なメドテックリーダーである BD (Becton, Dickinson and Company) (NYSE: BDX) は、本日、エドワーズライフサイエンス社のクリティカルケア事業の買収を完了し、これを BD アドバンスド ペイシエント モニタリングと改名することを発表しました。

BD アドバンスド ペイシエント モニタリングは、先進的なモニタリング ソリューションのグローバル リーダーであり、成長を続ける先進的なモニタリング技術、AI 対応の臨床意思決定ツール、そして強力なイノベーション パイプラインにより、BD のスマートコネクタケア ソリューションのポートフォリオを拡大します。BD アドバンスド ペイシエント モニタリングの技術は、手術室や集中治療室で BD Alaris™ Infusion System と同時に使用されることがよくあり



ます。BD の新しい先進的なモニタリングと既存の輸液プラットフォームの組み合わせにより、統合された企業データセットと相互運用性の機能を活用して、クローズド ループ血行動態モニタリング、輸液、および薬剤投与に対する将来のイノベーションの機会が生まれます。

BD の会長兼 CEO 兼社長のトム・ポーレンは次のように述べています。「医療業界は AI、ロボティクス、自律型ソリューションによって再定義されています。私たちは、これらの新技術の応用を加速させ、世界中で患者ケアの質とコスト改善に努めています。本日、BD アドバンスド ペイシェント モニタリングが BD に加わることを誇りに思います。その先進的な技術、AI 対応ソリューション、そして強力なイノベーション パイプラインにより、BD のスマートコネクタケアソリューションのポートフォリオが拡大し、お客様に大きな価値を提供します。これにより、BD は医療の未来を実現する最前線に立つことができます。」

BD アドバンスド ペイシェント モニタリングのポートフォリオには、ゴールドスタンダードであるスワングアンツカテーテル、低侵襲の血行動態モニタリングデバイス、非侵襲の組織酸素飽和度センサ、およびフィンガーカフが含まれます。そのスマートテクノロジーは、機械学習および AI ベースの予測、さらに規範的なアルゴリズムによる高度なデータ分析を駆動することで、臨床医が現在および将来の患者さんの状態をよりよく理解し、臨床的意思決定をするための支援ツールとなります。BD アドバンスド ペイシェント モニタリングは、BD メディカルセグメント内の事業部門として、スマートコネクタケアのアプローチに合わせて運営され、引き続きカリフォルニア州アーバインを拠点とします。2015 年からエドワーズでコーポレートバイスプレジデントを務めていたケイティ・ザイマンが、BD アドバンスド ペイシェント モニタリングのワールドワイド プレジデントに任命され、BD メディカルセグメントのエグゼクティブバイスプレジデント & プレジデントのマイク・ギャリソンにレポートします。

買収の完了は、2024 年 8 月 1 日の第 3 四半期の決算発表で提供された BD の 2024 年度のガイダンスに対して、重要な影響を与えることはない予想されています。取引に関する追加情報については、2024 年 6 月 3 日に発行された[投資家向けプレゼンテーション](#)および[取引発表プレスリリース](#)を参照してください。どちらも BD.com の[投資家向けページ](#)をご覧ください。

BD について

BD (ベクトン・ディッキンソン アンド カンパニー) は、医療分野での新たな知見を求め、診断や治療の質を向上させることで、「明日の医療を、あらゆる人々に™」というパーパスの実現を目指す、世界有数の医療機器・メドテック企業です。患者さんの治療や医療プロセスに関する革新的な技術やサービスを開発することによって、医療の最前線で活躍する人々を支えています。世界で 77,000 人におよぶ BD 社員は、次世代の診断・治療法の研究開発の現場で研究者をサポートし、臨床現場における医療従事者の安全性や医療効率を向上するため日々努力をしています。世界のあらゆる国の医療機関とパートナーシップを組み、世界規模の最重要課題に取り組むとともに、顧客である医療機関と緊密に連携することで、医療効果の改善やコスト削減、効率化、安全性の向上、医療アクセスの促進に寄与しています。

将来予想に関する記述

このプレスリリースには、エドワーズライフサイエンス社のクリティカルケア製品グループの買収に伴う予想される利益に関する将来予想に関する記述（連邦証券法に定義される）を含んでいます。これらの記述は、BD 経営陣の現在の予想に基づいており、事業および買収に関する多くのリスクと不確実性の影響を受けるため、実際の結果は、将来予想に関する記述に記載、示唆、または予測された結果と大きく異なる場合があります。これらのリスクと不確実性には、クリティカルケア製品グループの業務、製品、および従業員を BD に統合することに関連するリスク、これに必要な時間とリソース、買収の予想される利益が実現しない、または予想された期間内に実現しない可能性、主要な上級管理職や他の従業員の喪失、他社による新技術の開発や価格および市場シェアの圧力を含む競争要因、医療またはその他の政府規制の変更、有利なサプライヤー契約および関係を維持

する能力に関連するリスク、地域、国内、または外国の経済状況の変化、ならびに BD が証券取引委員会に提出した書類で議論されているその他の要因が含まれますが、これらに限定されません。BD は、適用される法律または規制で要求される場合を除き、本書の日付以降の出来事や状況を反映するために、将来予想に関する記述を更新する意図はありません。

連絡先

Media: Troy Kirkpatrick VP, Public Relations 858.617.2361 troy.kirkpatrick@bd.com	Investors: Adam Reiffe Sr. Director, Investor Relations 201.847.6927 adam.reiffe@bd.com
--	---

BD, the BD Logo and all other trademarks are trademarks of Becton, Dickinson and Company or its affiliates. ©2024 BD. All rights reserved.

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

日本ベクトン・ディッキンソン PR 事務局（株式会社プラップジャパン内）

Email : bdj_pr@prap.co.jp

TEL : 松澤（080-6049-7913）／桜木（090-3670-8521）

※お願い：恐れ入りますが、ご掲載いただける際の「製品についてのお問い合わせ先」は、BD カスタマーサービス（www.bdj.co.jp/s/cs/）をご記載ください。